

| | | | |
|-----|------------------------|-------|-------|
| 科目名 | 企業実習 I Internship I | 科目コード | 11550 |
|-----|------------------------|-------|-------|

| | |
|----------|---------------------------------|
| 学科名・学年 | 機械工学科・4年（プログラム1年） |
| 担当教員 | 機械工学科長，4学年担任（機械工学科） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他30】 |
| 教科書 | |
| 補助教材 | 本校学生課作成の「企業実習の手引き」，実習先企業が提供する資料 |
| 参考書 | |

【A. 科目の概要と関連性】

企業において生産と技術の具体的な体験を積むことによって、実践的な技術感覚を体得すること、および技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的とする。

○ 関連する科目：卒業研究（次年度履修），学外実習（専1履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------|-------|---------------|
| ① 職業意識を身に付ける。 | 30% | (f2) |
| ② 企業活動の実際を理解する。 | 30% | (f1) |
| ③ 技術者としての人間性を養成する。 | 40% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

実際の企業で就業体験を積むことは、諸君らの将来を考えるためのよい刺激になるので、積極的に取り組んでほしい。学校とは全く違う組織であることを常に認識し、責任ある行動を心掛けてほしい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（40%）【内訳：実習生が実習終了後提出する実習報告書】
- その他（60%）【内訳：企業の実習責任者から提出される実習証明書40，企業実習報告会20】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

| 回 | 内容 | 備考 |
|---|---|--|
| | <p>夏季休業期間中に企業で実習を行う。希望学生は実施責任者である学科長と実習科目指導教員であるクラス担任に相談し、実習先を決定する。</p> <p>(1) 実習期間：夏季休業期間中 1 週間程度 (2) 実施経費：学生負担 (3) 傷害保険：加入（学生負担） (4) 事前指導：実習生は、実施責任者および実習科目指導教員より、あらかじめ事前指導を受ける。 (5) 実習先での注意：実習生は、企業の実習責任者の指示に必ず従うこと。 (6) 実習報告書：実習生は、実習終了後、速やかに所定様式の実習報告書を作成し、実習科目指導教員を経て実施責任者に提出する。 (7) 企業実習報告会：実習生は、全員の实習が終了した後に開催される企業実習報告会で、実習内容について報告する。</p> | <p>詳細は、長岡工業高等専門学校「企業実習」実施規程を参照のこと。</p> |